

サロン ド ルーレット

## サントノーレ 12月12日 Open

神戸ではじめての、健全で優雅なルーレットサロン  
●日本ルーレット研究会（和田静郎会長）公認

## パンドラルーレット神戸教室

★私はルーレット・ゲームの面白さに魅入られてから10年、日本における健全なルーレットの発展に尽して参りました。

外国のカジノはほとんど回りましたが、ルーレットが紳士淑女のゲームだとつくづく感じることはルーレットの持つ雰囲気と、ルーレットを楽しむ人達のレベルが高く優雅の一言に尽きる事です。

社交的な教養とセンスをルーレットゲームを楽しむながら養うことは、神戸のスマートな方々にはぴったり。

日本ルーレット研究会の月例会場として一緒にルーレット必勝法を研究しようではありませんか。毎年帝国ホテルで開かれる全日本ルーレット選手権大会にも、腕をみがいてご参加下さい。

和田 静郎 <日本ルーレット研究会会長>

●メンバーズ入会金

男子会員 ￥10,000

女子会員 ￥5,000

ビクター料

（メンバーと共にお越しになった際、1人 300円）

●ルーレットチャージ ￥1,000（チップ20枚）



パンドラ・ルーレット教室

salon de roulette  
サントノーレ  
**St. honoré**  
パンドラルーレット教室

神戸市生田区中山手通1  
丁目24-7  
ダイワ・ナイト・プラザ6F  
お問合せ TEL391-3822





北海道帯広市西2条9丁目 オリエントル観光株直営

北海道郷土料理  
**蝦夷**

神戸市生田区中山手通1丁目115  
生田東門筋東門会館ビル1階奥 ☎331-7770



清酒 白鴈  
北海道郷土料理  
**蝦夷**  
東門会館1階奥

清酒 白鴈  
北海道郷土料理  
**蝦夷**



さんちかタウンの  
悟味酉が  
新装オープン!



冬の味  
ちゃんこ鍋の  
季節です。

さんちか味ののれん街

**悟味酉**

営業時間 11:00A.M.~9:30P.M.

定休日 第三水曜日

TEL (078)391-5319

# MERRY CHRISTMAS

## SANOHE

元町2丁目 TEL 331-4707~8

*Salon Élégant*  
**SANOHE**

神戸トアロード TEL 331-1952

東京渋谷東急百貨店本店2F

大阪阪急百貨店本店2F

世界の粋をあつめた

サノへの逸品

確かな手ごたえです



PHOTO BY  
GIN PHOTOGRAPHY



MERRY CHRISTMAS  
**CAKE**



**アルモンド K.K.**

☆生田区元町2丁目43/331-2203

☆神戸大丸地階/391-3120



**月堂**

☆元町3丁目/391-2412~5

☆さんちかスイーツタウン/391-3455



アリス菓子



東京・大阪・神戸

☆センター街店/331-3508

☆さんプラザ地階/321-1900

☆さんちかスイーツタウン/391-3508

☆本社/東灘区魚崎浜町/441-0331



¥2,000～¥3,000

トイズ堂  
Fukushima's  
ユ-ハイム

☆三宮生田神社前/331-1694  
☆大丸前/331-2101  
☆さんちかスイーツタウン/391-3539  
☆貿易センタービル地下1階/251-0139



神戸—大阪—京都—名古屋—東京—札幌

**パン屋トイズ**

☆三宮本店/生田区三宮町/391-5481  
☆喫茶室/生田区三宮町/391-5482  
☆さんちか店/さんちかタウン/391-4879  
☆サンドウィッチバーラー/生田区三宮町/391-5485



MERRY CHRISTMAS  
**CHRISTMAS**



ファミリーなクリスマス  
フレンドリーなクリスマス  
二人だけのクリスマス

愛をこめてKOBЕの聖夜に贈る



クリスマスケーキコレクション  
クリスマスの主人公は窓の外に  
積もった雪とサンタに変身した  
パパと 楽しいケーキ。

洋菓子天国KOBЕのステキな  
お店のケーキコレクションを  
おとどけます。



# 師走

KOBE

## ミニ・タウン

すみっこのテーブルでマッチ  
をすったら一瞬の暖かさが  
私にとつてかわり  
暗やみがもどつた時  
私はどこにもいなかった  
空を翔けた記憶……

世界の服地

シンワ

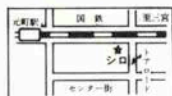
今年は仲良しグループでパーティを開きます。普段  
ちよっぴりおてんばな私もシンワでドレスに装  
い皆を驚かしてやろうと計  
画中です。

センター街店

さんちか店

☎ 051-555-5555

☎ 051-555-5556



品選びからデザイン、仮縫お届けに至る  
迄、ファッションのことなら何でも……  
生田区三宮町  
三丁目一  
☎ 051-555-5555

ブティック・オーダー

シロ



舶来ブティック レディ・バード

レディバードはてんと虫  
クリスマスプレゼントにひ  
つたりの品でいっぱい。  
元町一番街の西端、白いレ  
ンガのお店です。 ☎ 051-555-5555





MERRY CHRISTMAS



心があつたかあくなると外の寒さなんて平気になり  
ますね。 鏝で飲  
む珈琲はそんな  
珈琲です。 賣台  
区坂口通七の二  
〇(例) 〇〇x

珈琲処

鏝



ダイヤモンド  
コーポ  
74 タイヤ  
モンドコー  
ポ 103  
(例) 〇〇x

不思議なお店です。 ゆつたりとくつろげる優雅なサロ  
ンでも申しましようか。 生田区山

舶来雑貨・ルームアクセサリー リブ・カズコ



ちびっこの夢がひろがるクリスマス。 めいぐるみ  
やゲームもいっぱい勢揃いしてプレゼント準備OK。  
さんちが店 (フアミリータ  
ウン) (例) 〇〇室 元町店  
(元町通) 三丁目山側 (例) 〇〇  
お バンフ店 (元町通一  
丁目下「家前」) (例) 〇〇x

おもちゃの

カメラヤ



MERRY CHRISTMAS



スナック

ガストロ

女の子ばかりのお店になって、雰囲気もいちだんとシツクに。音楽と、美人のママのサービスのサービスと、お酒……  
快い酔いの中からだをまかせ  
グラスを重ねれば、師走の  
夜が更けていきます。  
中山手通りトリアンシオン

☎(231) 一〇七三三



御食事処

楽 珍

何かと集まることの多い季節。日本酒がますますおいしくなるこれから、鍋ものに舌つづみをつけては自分をとりもどす貴重な時が帰ってきます。

☎(331) 一〇三三三  
三宮生田筋東側



「エル・ヴィノ」はスペイン語でワインのこと。目の前で楽しめるフラメンコやギターの生演奏が、訪れる人の心をホットに燃え立たせることづけあい。表の木枯らしから逃がれ、エル・ヴィノで暖かい夜を！  
北野町三丁目アルドマン  
シオン ☎(241) 一三三四四

フラメンコの店

エル・ヴィノ





MERRY CHRISTMAS



☎ (242) 一〇〇四二

メキシカンレストラン ティファアーナ  
メキシコ料理と音楽を食へさせるお店。テキーラをあお  
らすともメキシコモードに酔いしれたころ、情熱的なラ  
テンの生演奏が始まります。ひととき異国への旅。  
中山手通り  
パールコー  
ボラスビル



ディスコテイック

45

ドリンクつきで十二時  
までなら女性八〇〇円  
男性一〇〇〇円



平日は八時オープン  
日曜・祭日は六時。  
花隈中央通り  
☎ (341) 一八四五

ピッツアハウス

ピノキオ

クリスマスだけに作る「ホワイトクリスマス」は七面  
鳥の肉とホワイトソースをあしらったピッツア。神戸  
ビーフと魚がたつぶりの「神戸っ子」もピノキオオリ  
ジナル。ピノキオと姉妹店二門特製という甲府産サド  
ヤワインを飲みながら魅惑  
のクリスマスの夜を！  
中山手通り ☎ (331) 二五四四

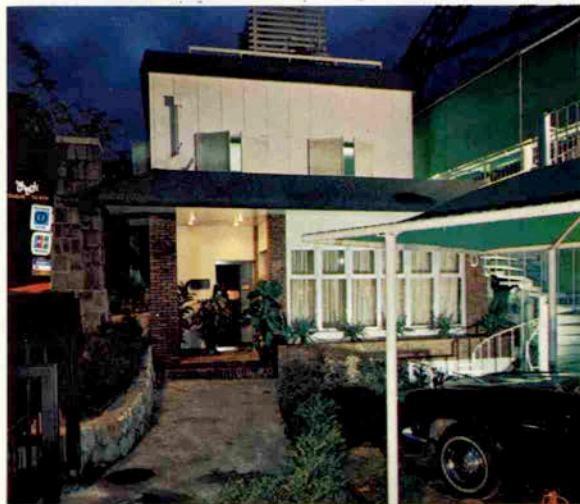


ジャガーのある店



# The **check** 高級レストラン 神戸店 オープン

諏訪山ゴルフセンター レストハウス内



おなじみの高級レストラン「ザ・チェック」が神戸にやってまいりました  
落ちついた雰囲気です炭焼料理をどうぞ……

リラックスしていただけるバーカウンターもごぞいます  
ゴルフ練習のあとはカフェテラスでリフレッシュ——

高級レストラン **ザ・チェック** 神戸店

神戸市生田区山本通5丁目6 (相楽園山側) ☎ 078 (351) 3522 ●専用駐車場(10台)完備



ミナトを見晴らすデラックス練習場

**諏訪山ゴルフセンター**



れんがの元町1番街を歩いた後は〈<sup>ポ</sup>LO<sup>ロ</sup>〉でお茶を



COFFEE SHOP

POLO

元町1番街〈元町画廊地下〉

tel 391-3155







大宮八幡宮の石段を御輿が次々とかけあがる。祭りのクライマックスである。



# 三木の太宮八幡秋祭り

黒部 亨 〈作家〉

三木の市街地に一步はいると、行き交う人たちはおとも子供も祭りに身をかためて、町中が祭り気分一色に塗りつぶされていた。今日は太宮八幡宮秋季祭礼の本宮の日である。



ハッピーを着ておもちゃで遊ぶかわいい男の子たち

米どころの播州には特徴のある祭りが多く、わけても北条の住吉神社の春祭り、吉川町の若宮八幡の秋祭り、灘のケンカ祭りなどが名高いが、この太宮八幡の秋祭りも規模の雄大さにおいて横綱か大関格といつてよい。

三木といえば、ほかにも特産の金物を業とする人々の祭りとして「フイゴ祭り」というのがあって、毎年十二月八日稲荷神社に参拝して赤飯と油揚げを供え、同じ日に金物神社で「金物祭り」が行なわれる。しかし何といつても庄巻は太宮八幡の例祭であらう。

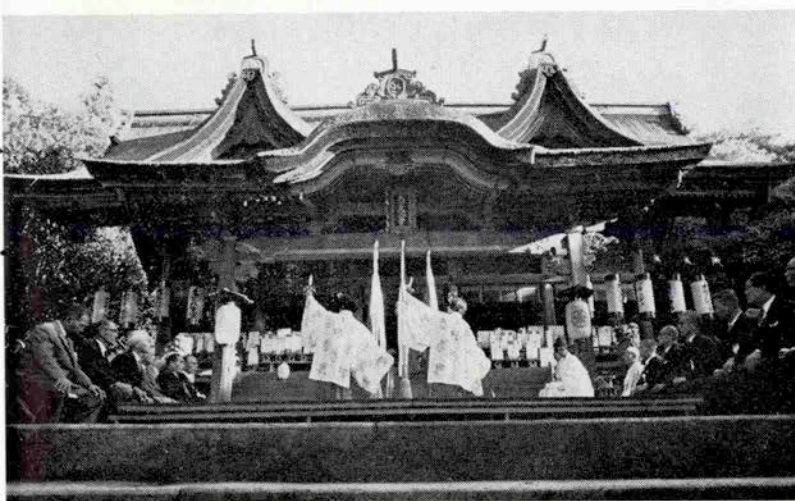
従来は陰暦九月十二、十三の両日に行なわれていた。明治四十三年から毎年十月十六日（宵宮）、十七日（本宮）の二日間にわたって行なわれるようになった。たまに同日に長屋の岩壺神社の祭礼も行なわれるので、岩壺さんは東半分、八幡さんは西半分と、三木の町は東西二つに分かれて湧きかえる。

太宮八幡社はまたの名を九社八幡宮あるいは単に太宮と称し、町の中央部本町の背後、旧三木城と台地つづきの高台にあり、山上から三木市と美養川を見下ろせる景勝の地にある。

境内や背後の山には松、杉、桧などの老木がそびえ、古くから楓とツツジの名所として知られている。とくにツツジは東北境内の山中に多く、古老の話によると、昔はこれを神木として損傷する者はなく、全山鮮紅色におおわれたものだという。維新後はややさびれてしまったものの、いまもわずかに名残りをとどめている。

祭神は応神天皇をご主座に八柱の神を奉祀し、天永二年（一一一一）三月十三日、院主慶算という人によって創建勧請されたといわれている。播磨国守護職赤松頼清がいらい東播八郡の領主別所長治にいたるまで当宮を守護神としていたが、その間の変遷がくわしくわからないのは、天正八年（一五八〇）別所氏が羽柴秀吉に攻め滅ぼされたとき、この神社の社殿、建造物、文書類がごとごとく焼失したためである。

天正十年、領主中川秀政が当社および別当月輪寺を造営し、境内の山林を寄附した。それいらい池田輝政、小笠原忠政など代々の領主の手あつて庇護を受け、幕府からも神領七十五石の朱印状を拝領して明治にいたっている。庶民の尊崇はもとより、八幡社とあつてとくに武門



本殿の前で巫女姿の少女によって「浦安の舞い」が奉納された

武將の崇敬が篤かったようである。

境内総面積は五千二百七十余坪。天和二年（一六八二）に再建されたといわれている現在の本殿は、両部造松皮葺きで正面に二つの千鳥破風と一つの唐破風をもち、その壮麗さは近郷でも群を抜いている。

氏子は昔は約六百戸といわれたものだが、現在では四千戸はあろうといわれ、例祭のときは年齢に制限なく一戸から必ず一人は参加しなければならない。もし女ばかりの家で参加できないときは日当を出すことになっているから、氏子総参加の大祭りなのだ。

十六日の宵宮には御興の旅立行事（渡御式）が行なわれる。観衆約三万人。

御興をかつぐのは氏子二十ヶ町のうち、一町から三名ずつ選び出された少年（小学校男子六年生）たちで、合計六十名。当社紋章入りの白い禪（おん）（祭祀のときの儀礼服）を着て本社を出発。別所村高木にある御旅所まで約三キロの道のりを、一定の通路をとって到着する。氏子どもよ、達者でいるか」と神さまが見舞いにいられるわけである。

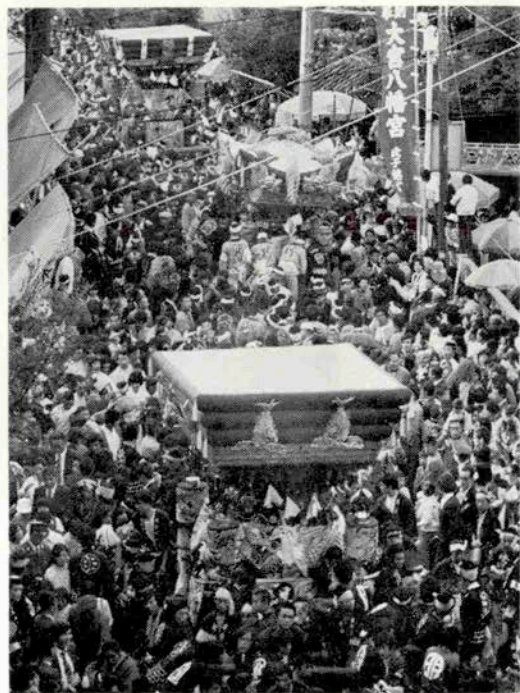
御興には高張提灯、鉦、旗の神具行列がつづく。御興をかつぐのは大変名誉なことだし、一度かつぐと体が達者になるといわれているから希望者が多い。一町から三人だけ選び出すのに苦労することもある。御興は十六日夜は御旅所に駐輦、高木村全村がこれを警護する。

翌十七日の本宮の日は、午後一時から還幸行事がはじまる。

神職をはじめ供奉の人たちが御旅所に参集し、同二時還御の途につく。帰りは少し道筋が異なる。御興の露払い役を勤める猿田彦は町ごとの年番制で、たいてい町の顔役さんが勤める。これに出ると体が健康になるといわれている。

御興が御旅所を出立するほぼ同時刻、本社において昔は能楽が行なわれていた。能舞台もあった。その後、相撲などの余興にかわり、現在ではどちらも行なわれてい





夕やみせまる頃、神社のまわりは人と御輿で埋まった

ない。そのかわり御輿が還御したあとで「浦安の舞い」が奉納される。

本殿正面の石畳に板を敷き、その上に畳をのせ、巫女姿の少女が二名（三樹小学校六年生）が、鈴のついた剣と扇をもって舞う。優雅で動きの少ない静かな舞いである。巫女も町ごとの年番制である。

四時十五分、神事はことごとく終了。

◇

◇

五時ごろになるといよいよ待望の屋台の宮入りが始まるが、それまでの間社務所にはいつて鈴木信次さん（73）に祭りの昔話をうかがうことにする。鈴木さんは三木市美濃郡神社総代会会長とともに大宮八幡宮の責任役員を兼ねている人。

「わたしがいちばん最初に記憶している祭りは、三歳か四歳のころですな。母親におんぶされて祭り見物に行っただんですが、屋台の太鼓の音がこわくて泣くものですから、母親が路地から路地へ逃げまわったそうですわ。屋台が出るようになったのは維新後ですから、約百年ほど前ですね」

その屋台は現在二十ヶ町のうち、何ヶ町かが合同で一合ずつ持っている。八つの屋台が境内にはいつてくる順

番も決まっています、先頭が明石町、以下順番に新町、末広町、栄町、下町、高木町、平田町、大村町となっている。つまり旧大字ごとにひとまとまりになっているわけで、経費はむろん町負担である。右の順番は屋台ができた順で、帰るときは出発順序が逆になり、大村町が先頭、明石町が最後尾となる。

「昔はケンカが多かったもんでしてね。屋台と屋台がちよっとでも接触すると、すぐケンカがはじまりました。屋根に登ってカワラを投げ合うといっ

た大ゲンカに発展したこともありましたよ」ケンカが多いのと、電信柱が立って道がせまくなったため、ついに警察から苦情が出て屋台の巡行が一時中断された時期があった。明治のおわりから大正にかけての十年間である。この間に屋台を売ってしまったところがあった、屋台巡幸行事が復活したときはよそから借りてこなければならなかった。

「昔は、屋台の先棒をかつぐ人がいちばんいなかでしてね。赤い長襦袢を着ていましたよ。汗が出てくるとそれを脱いで、赤フンドシ一本の裸になっていましたなこの先棒はいちばん力持ちですから、ケンカるときはこわかったですよ」

むろん現在は屋台同士のケンカなどはなくなり、秩序整然としたものである。

この祭りの特徴——というよりハイライトともいうべきものは、八台の屋台の宮入りである。

五時を過ぎるころになると、参詣人や観衆の数がぐんぐん増えて、八幡さんの境内から本町三丁目にかけては押すな押すなの大混雑になる。本町の外れから境内の鳥居にかけて急傾斜の石段が八十五段ある。観衆はこの石段の上下両側をびっしりと埋めつくす。というのは、こ

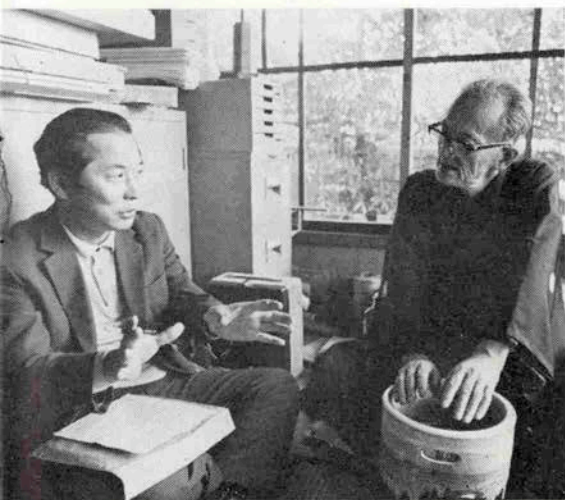
の石段を一トン以上もある屋台がかつき上げられるからである。

町中を練り歩いた屋台は、それでなくてさえかなり疲れているところへこの大難所が待ち構えているから、かき手たちは最後の気力をふりしぼって石段に挑戦する。石段と屋台との壮絶な闘いが展開する。

先頭をやってきた明石町の屋台が石段の下に近づくとき石段の両側や左右の木立ちの中には、一寸の余地もないほど見物人で埋めつくされた。正服警官が何十人となく警戒にあたっている。マイクでスリの用心を呼びかけているところを見ると、年々かなりの被害がでるらしい。

屋台が石段にさしかかると、まず綱引用の太いロープが屋台の前部に取りつけられ、これを引っぱる者と屋台をかつぐ者の二手に分かれる。昔はこのロープがなかったから、途中でズルズル後退することがあつてすこぶる危険だった。

かき手を叱咤激励するように太鼓が激しく打ち鳴らされる。掛け声もろとも、屋台は傾いたまま急傾斜の石段を二段三段と登っていく。観衆は手に汗をにぎって見ている。数段登るとかき手の力がつきて、屋台が大きく傾ぐ。



鈴木信次さん（右）から話を聞く筆者

観衆からアーツと悲鳴があがる。屋台はどしんと石段の上に落ち、右や左に大きく揺れるが、そこはよくしたものでひっくり返ることはまったくない。

かき手は汗びっしょり。まっ赤な顔もあればまっ青な顔もある。屋台一台に百人近い人々が取りついている。汗と酒の匂いがアーツとたちのほつてくる。激しい息づかいが見物人を汗ばませる。

掛け声をかけあい、途中何回か休息をとりながら、一步一步石段を登っていく。そして遂に境内の鳥居をくぐると、屋台はまるで全身で欬びを表現するように小刻みに揺れた。石段を登りきるまでに、早いので三十分、遅いのは一時間近くかかることがあるという。

屋台は適当な間隔をおいてつきつきに境内にはいつてくる。かき手は十代から五十代にかけてで、いずれも背と袴に町のしるしを染めぬいたハッピを着ている。それも汗でびしょびしょである。

境内にはいつてきた屋台は、いつそうはげしく太鼓を打ち鳴らしながら、観衆を追い廻すように練り歩く。娘さんや子供たちがうれしそうに悲鳴をあげながら、あっちへ逃げこっちへ逃げして、境内はまるで湯が煮え立っているような光景である。

四台目の屋台がいつてくると、先頭の屋台が所定の位置について休息にはいる。つまり栄町の屋台が石段を登りきると明石町の屋台が行動を停め、五番目の下町がはいつてくると新町が休息にはいるといったぐあい。したがって境内ではたえず三台の屋台が練り歩いているわけである。

太鼓の音と大混雑に疲れをおぼえたので、ひとり境内を抜け出て近くの月輪寺へ詣で、寺の石段に腰をおろしてしばし休息する。

時刻は六時。観衆の数は四、五万人とふくれあがっている。境内はもとより月輪寺へ通じる坂、本町一带にかけて約百店の出店が軒をならべ、酔って顔をまっ赤にし



た若い衆がジュースを飲み、祭り姿の幼児がアイスクリームをなめ、晴着姿の女性がタコヤキを立ち食いしている。出店にはヘビ使いなどさまざまな職種があるが、どの祭りにも大挙して押し寄せてくるタコヤキ屋がやはりいちばんよくはやっている。

人の流れは切れることなくつづいている。これだけの人間がいったいどこから湧き出たのだろうかと思われるくらいの人出である。むろん地元の人たちだけではなく

大阪、神戸、明石、姫路、

西脇方面からやってきている人が多いし、ふるさとの祭りのために関東方面から飛んで帰った人々もいるにちがいない。

そういえば、さつき鈴木さんがこんなことをもらしていた。

「若いころに屋台をかついだ感じは、いくら年をとっても忘れられるもんじゃありませんよ。太鼓の音がズシン、ズシンと腹にこたえましてね、何ともいえない気分です。昔、わたしの知り合いがいましてね、三木の人間じゃないんですが、八幡さんの祭りになったら三木にやってきて屋台をかつがせてくれというんですよ。一度かつがせてやったら、病みつきになって毎年やってきましたね」

祭りの感動というのはそういうものかもしれない。

農村の過疎化現象によって衰微しかけていた村祭りは近年、全国的に復活の傾向にある。こんな祭りがわれわれの郷土にあったのか、というおどろきが新たな価値観を目ざめさせて、その保護保存に情熱をもやす人々が増えてきたのは心楽しい現象である。



「お祭りだからママに着物させてもらったの」

この原因を考えてみると、人間不信や人間疎外という悲しむべき現代病に蝕まれてきた日本人が、深い血縁や地縁につながる農村共同体の中で、新しい人間関係をとりもどそうとの回帰衝動ではなからうかと私は考える。観光化した大都会の祭りと異なると、田舎の祭りには共同体のキズナがあり、その土地の歴史、慣習、生活を象徴している。祭りを生み出した人々のくらしが素朴な感動となって人々の胸をうつのである。

月輪寺の石段に腰かけていると、太鼓の音がほどよいボリュームで快く伝わってくる。

ふと気がつく、いつの間にか参道の街灯に灯りがはいっていた。今朝の雨で洗われた樹木の幹や葉がしっとりと光っている。すでに西の空は夕焼け、樹々の枝ごとに射しこむ夕陽の淡い色が、参道を行く人々の晴着に微妙な色彩を投げかけていた。

夜になれば、やがて屋台も一つ二つと帰って行く。あちこちから集まってきた人たちも、二日間の楽しさを胸に去って行く。古木に囲まれたこの神域にも、やがてもの深い静寂がよみがえるだろう……そんなことを思いながらやおら腰をあげたとき、樹立ちの奥から肌寒い夜気がしのび寄ってきて、そっと頬をなぞた。

三木盆地にももう冬が近い。

(おわり)

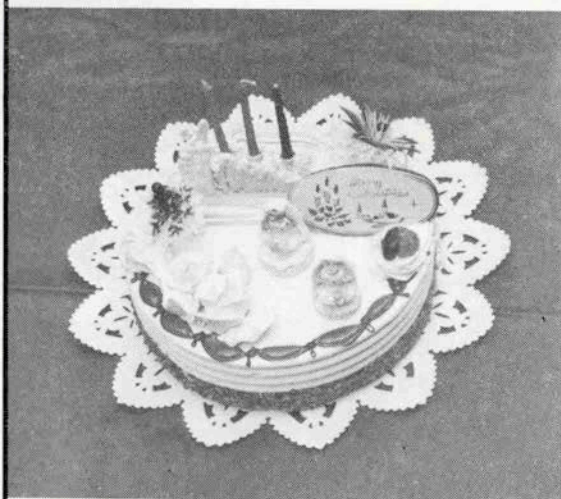
まる二年間連載してきました「北神戸をゆく」は、今回をもっておわります。取材にあたり、ひとかたならぬ協力にご指導をたまわった各地の方々、ならびに毎回ご同行いただいた本誌の編集明記者、藤原保之カメラマンに心からお礼申し上げます。(黒部)

Merry Christmas



**金 柴田音吉洋服店**

神戸・元町4丁目南 神戸 341-0693  
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



\*クリスマスケーキのご予約はお早めに



北 欧 の 銘 菓

**ユーハイム・コンフェクト**

■本社・工場・煎内店 神戸市灘区堀内町1の35(市立美術館東隣) TEL.221-1164  
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL.331-2421  
■さんちか店 神戸三宮地下街スイーツタウン内 TEL.391-3558



## ★コンピュター・ドックシリーズ

〈2〉

# 宇宙遊泳をした気分

レポーター／藤本ハルミ（フアッションデザイナー）

私はおいしい物を食べるのに情熱をかたむけているくいしん坊。

マカンブッサル（食べる仲間の会）の重要な一員である。だから、私は胃ガンで死ぬにちがいない。突然食べられなくなつて山のようなご馳走を横目でみながら餓

鬼道におちいるのではなからうか……と時折潜在的恐怖観念におそわれる。

九時ジャストに白く明るい丸山健診センターの門をくぐり一番のバジをもらつて、実にスピーディな診察の流れの中へスタートした。寝たままぐるぐる廻るレントゲン検査や



「うらやましい健康体だ」と藤本さんに話す三木院長

密室の聴音検査など何やら宇宙遊泳にでもかけているような気分になって何と医療科学の発達したことと驚いてしまった。十一時三十八分最終の採血がすむと温かいお紅茶とサンドイッチがはこばれニコニコ。午後一時過ぎには院長先生から「うらやましい位の健康体ですなあ、胃はめずらしい位きれいです。この胃ならお腹もすぐでしょう……。」

パンザイ！人生はバラ色、ガンバラナクッチャア！

## ★3時間ドックとは？

「気軽に成人病健診を」と、兵庫県下ではじめてのコンピュターによる健康診断センターが、神戸市長田区丸山町3、丸山病院（三木徹院長）に今年五月に完成。現代人にマッチしたスピーディなシステムが人気となつて、モレレツサラリーマンや、家族ぐるみの検診者が増えている。

健診は、血液、尿の検査。胸部X線、胃部X線。身長、体重、視力、血圧、眼圧の測定。心電図、心拍数解析、聴力、肺機能、眼底検査など六十六項目が全部自動的に進められ、コンピュターによって二日かかったものが三時間ですむ。費用は二万三千元「三十五歳以上の人はぜひ年に一度うけましょう」と呼びかけている。

# 丸山病院 健診センター

神戸市長田区丸山町3丁目20

TEL 神戸078(642)1131(代)

午前9時～午後5時

白い冬、あのぬくもりを今も…



婦人帽子

**マキシン**

マキシンの帽子のおもとは全国有名百貨店でどうぞ

神戸・トアロード 東京・銀座3-2  
TEL (078) 331-6711~3 TEL (03) 535-5041

ときには妖しく 心ときめかせ



株式  
会社 美容室

**エリザベス**

本店 三宮神社北東三上ビル2F TEL.331-8894・4917  
芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅山側 TEL.0797-22-4067  
専属結婚式場 生田神社会館・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・蘇州園地

花嫁衣裳サロン 東京初代遠藤波津子直流  
畑尾美久子の店

お貸衣裳部 生田神社前通 TEL.331-3258



フラメンコの店

## ブルーリボン

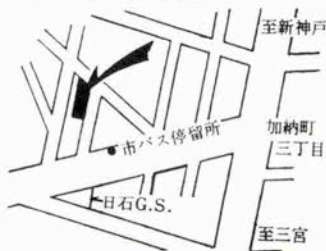
加納町3丁目交差点西20米上ル  
☎241-8679



### ★カステネットの響く店

市街地の雑踏を離れた神戸の山の手、加納町にフラメンコの店ブルーリボンがある。こじんまりとした店内に一步入れれば、情熱的なカステネットをかき鳴らす音とギターのリズムとで、たちまち、魅了されてしまう。毎週金曜日の夜には三回（8時、9時、10時）フラメンコ舞踊を実際に行っていて、マスターのギターと、目にも彩やかなフラメンコの舞踊は思わず息をのむ素晴らしさである。飲み物、軽食もいろいろとあり、スペイン情緒をたっぷりと味わえる。この6月1日に16周年を迎えたブルーリボンは気軽に行けるフラメンコムードいっぱいのお店である。

セリー酒（ワイン） 350円  
トルテージャ（オムレツ） 400円  
営業時間 6:00PM~12:00AM  
第3日曜は休み  
☆フラメンコギター教室  
火曜・金曜・日曜の3:00PM~  
6:00PM 初心者歓迎



## DRINKING

Wine Room

## SAKA

生田区中山手通り2丁目93  
東洋ビル2階 ☎391-2323



### ★歌声の流れる店

オリエンタルホテルでバーテンをやっていた坂谷勝義さんが新しくつくった店、それがワインルーム〈SAKA〉場所は、三宮・農芸会館西の筋を上った東洋ビル2階。場所がらオフィス帰りのビジネスマンが一人で気軽に立ち寄り、あるいは、グループでボックス席を弾取っていたりする。店内のシックな造りが落ち着いた雰囲気をかもし出し、ゆったりとした気分であつち上げる。それに何より楽しいのはギターの伴奏でゆかいに歌えること。飲んで歌って、おまけに店にはキュートな女性がいるのだから、この上なく楽しくなってくる。また、鍋物料理を各種出せるのもこれからの季節にはうれしい。

水割（オールド） 450円  
ビール 400円  
ボトル（オールド） 6,500円  
ボトル（リザーブ） 7,500円  
つき出し（各種） 300円  
鍋物類（各種） 500円  
営業時間 6:00PM~2:00AM

